

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
1	(1) 施設整備に関する事	蒲生学園ですが、体育館の地下にプールを作り、屋内型温水プールで可動床で屋内運動施設として利用。とあるが、温水は必要なのか。ネットで見ると、屋内でもガラス屋根にすれば5月～10月まで使えるみたいだし、温水の設備スペースが無駄。維持管理に高い金もかかるのでは。素人考えだが、温水にしたら、蒸し暑く、結露もすごくて屋内運動施設として使えないのでは。プールは必要だと思うが、温水以外も、もう少し検討をお願いしたい。	（仮称）蒲生学園のプールについては、屋内施設型温水プールとして計画しています。ご意見いただいたガラス屋根を用いた屋内施設型のプールについても同時に検討を進めてきたところですが、建設費用や維持管理などの課題も含めて総合的に判断し、本計画においては屋内施設型温水プールを計画に位置付けいたしました。なお、温水以外にも検討をとのことですが、今後事業を進めていく過程において、事業者とともにより現実的な整備手法についての検討を行ってまいります。	B：整備段階の参考とします
	(2) 施設整備に関する事	SDGSは世界的に推進されています。特に学校教育では、今後積極的に取り入れられると思いますが、今回の計画にはどう活かそうとお考えでしょうか。脱炭素は、地球規模の課題で建築物にも求められています。ソーラー発電等は子供達の目に見える形での教育の一環と考えますが、導入されるのでしょうか。プールは温水化することですが、重油・ガス・電気はCO2発生の量的な違いある様ですが、どれを考えているのでしょうか。温水化して住民開放をするのでしょうか。	埼玉県東南部地域5市1町による「ゼロカーボンシティ」共同宣言を受けて、再生エネルギーの活用や省エネルギーに配慮した施設整備を目指しています。太陽光発電に関しましては、いただいたご意見を参考にさせていただき、他の市内小中学校と同様に教育の一環として整備するよう、要求水準書(案)にも反映させていただきました。プールの温水化についてもCO2削減に向けた整備について努めてまいります。なお、学校プールの住民開放につきましては、現在のところ考えておりません。	C：要求水準書（案）に反映します
2	(3) 小中一貫教育に関する事	来年4月に、蒲生第二小学校に進学予定の未就学児の親です。現状じゃ蒲生学園の学区になっていますが、今後蒲生南小学校へ学区変更などがあるのではないかと不安に感じています。蒲生南小学校も施設の築年数もあり老朽が進んでいますが、こちらに通っている子供たちは今後10年20年スパンでどのような変化があるのか、ないのか。蒲生学園の資料では、特に記載されておらず、取り残されている印象がある。それに伴い、蒲生学園から蒲生南小学校へ突然の学区変更があるのではないかと今から不安です。南中学校は理論上800人ぐらいが通う大きな学校になるようですが、部活動での試合、大会への出場機会についてどのように考えていますか。学校代表として選ばれる生徒数は決まっており、生徒数が多い分で参加チームも南中学校A・Bなど2倍なのか配慮いただきたいです。	ご案内のとおり蒲生第二小学校につきましては、蒲生小学校と合併し、新たな小学校となります。通学区域につきましては、これまでの蒲生小学校の通学区域を加えた範囲が、新たな小学校の通学区域となります。新たに設定いたしました区域が今後、蒲生南小学校の区域に変更するのではないかと、というご心配でございますが、現在のところ通学区域の変更はございません。学校の通学区域については、当該地域の児童数の推移を含めて、様々な状況等を見極めながら検討してまいります。 また、蒲生南小校舎の老朽化についてですが、蒲生南小に限らず市内小学校については、本市の公共施設等総合管理計画に基づきながら計画的に更新していく必要があると考えております。 南中学校の部活動に関しましては、部活動に参加している生徒が日々の研鑽が発揮できるよう、努めてまいります。	D：その他（ご意見として承ります）
	(4) 小中一貫教育に関する事	○プール設備の廃止および民間のスイミングスクールとの連携 <現状の問題点> 学校のプール設備の維持は大変であるうえ、屋外であるため天候の影響を受け、特に近年は暑すぎて中止となった事もあり、改善すべきと考えます。 <改善案> ・スイミングスクールとの提携ができれば屋内施設となり、通年での使用が可能となり、スケジュール調整で対応できるのでは。	貴重なご意見、ご提言ありがとうございます。民間との連携につきましては、当該事項を進めていくためには、移動、授業時間、評価等も含めた諸条件や費用等を総合的に検討していく必要があると考えておりますので、（仮称）蒲生学園では考えておりません。いただきましたご意見については、今後の参考とさせていただきます。	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
3	(5) 施設整備に関する事	<p>・また、子どものスキルやレベルに分けて、専門知識のあるコーチから指導を受ける事ができれば、子供達にとっても大きなメリットがあるうえ、学校側（教員）の負担軽減になるのでは。</p> <p>・プール設備が不要となることで校庭面積の拡大にもなるのでは。</p> <p>○地域での利用が可能な運動場の確保と民間企業との連携 <現状の問題点></p> <p>・校庭面積が狭くなっている。</p> <p>・子供だけでなく、地域住民が気軽に運動できる場所が無い。公園を利用する近隣住民側にも配慮が必要であり、制限事項が多い。</p> <p><改善案></p> <p>・学区を越えた交流をできる機会や設備があると良いのでは。</p> <p>・また、市民開放を前提に、子供たちが気軽にボール遊びや自転車の練習ができるようにする他、高齢者向けのゲートボールやグランドゴルフ、ウォーキング等も行える環境があっても良いと思います。</p> <p>・サッカー、野球、バレーボール、バスケットボール、テニス等のスポーツを気軽に楽しめる設備を民間企業と連携して運営することはできないでしょうか。スクール運営を行う団体や企業との提携により、設備投資や運営の効率化を図る事ができたら良いと考えます。</p>	<p>前提として、中学校の使用する屋外運動場や屋内運動場では、放課後や週末に部活動を実施している現状があります。</p> <p>本ご意見、ご提言につきましては、学校施設のみならず公共施設全般に関する事項であると理解しております。なお、民間事業者との連携につきましては、教育委員会だけで対応できる課題ではないととらえておりますので、いただきましたご意見を参考に、今後の公共施設の在り方などについては関係部所とも連携してまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
	(6) 施設整備に関する事	<p>○その他</p> <p>・周辺環境（交通面、駐車場・駐輪場等）の改善をお願いします。</p>	<p>施設整備を進めていくためには、周辺環境への配慮が必要であると考えております。いただきましたご意見を踏まえて、学校敷地内の駐車場や駐輪場等についても、道路状況や交通環境を考慮しながら整備してまいります。</p>	B：整備段階の参考とします
4	(7) 学園構想・計画全般に関する事	<p>コロナ禍で説明会などが難しいのはわかりますが、子供たちや保護者、学校関係者の意見をきちんと汲んで計画を立てるべきではないでしょうか。そもそも、なぜレイクタウンに小中学校がないのかが解せません。レイクタウンの児童が増えることは、想定内のはずです。小中一貫校で人数が多すぎるのは、児童生徒ひとりひとりに目が行き届かず、論外です。上級生を別校舎に分離するというのは、大学ならいざ知らず、成長過程の小学生にはつらいでしょう。今できえ遠い道、危険な道を通学しているのに、蒲生や川柳はさらに遠いです。きちんと話し合い、当事者たちの意見に耳を傾け、丁寧な仕事をしていただきたいと思います。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>川柳小学校の高学年校舎については、先進的な取組について調査・研究し、小中一貫校として9年間を通した教育カリキュラムを柔軟に編成</p>	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
			できるよう、学校とも連携しながら検討を進めてまいります。また、すでに開催した地域説明会や保護者説明会でいただいたご意見も参考として、保護者や地域の方、学校の管理職が参加する地域準備会でも検討してまいります。	
(8)	小中一貫教育に関すること	<p>1 小中一貫校に関する事項</p> <p>(1) 小中一貫とする動きは特に反対すべきものとは思わないが、蒲生南小が別校舎である時点で小中一貫と称してよいものか。</p> <p>(2) 5～7年カリキュラムで小中学校の円滑なつながりを重視とあるが、蒲生南小においても同様の効果が見込めるのか。</p> <p>(3) そもそも大相模地区の人口増加に対する対応が遅れたことによる間に合わせの施策ではないのか。</p>	<p>国では小中一貫校について、施設一体型、施設分離型、施設隣接型として3つの形態で示しております。（仮称）蒲生学園については、施設一体型と施設分離型の形態を複合した一貫校として準備を進めています。分離型となる蒲生南小学校が一体型の学校と同様の教育効果が見込めるのかというご懸念ですが、学園として一体感を高められるよう、（新）蒲生小、南中と蒲生南小の合同の教育活動やオンラインを活用した教育活動などを計画するとともに、行事等の機会を生かした交流活動を取り入れるなど、小中一貫校としての教育課程編成を進めてまいります。</p> <p>本市では平成27年度より市内全小中学校において、小中一貫教育を推進してまいりました。本事業は、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
(9)	通学に関すること	<p>2 通学について</p> <p>(1) 説明会では自転車による通学はないとのことだったが、新設南中の学区最南端から徒歩でも十分通学可能な範囲であるか検討いただきたい。</p> <p>(2) 現状でも蒲生商店街は抜け道として自動車や自転車の通りがあり、安全性に疑問があるが、さらに中学校が加わることで、車道へのはみ出しなど、交通トラブルが懸念される。通学路の選定は安全に十分配慮し、事故が起こらないよう対策をしていただきたい。（ドライバーのマナーにもよるが、かなりの速度で通過する車両も見受けられる）</p> <p>(3) 工事中の通学は、出入りの業者や搬出入の車両との近接が予想される。</p>	<p>新設南中につきましては、現在の蒲生小・蒲生第二小敷地内に建設する予定であり、学区最南端から徒歩でも通学可能な半径2km程度に位置することから、徒歩での通学が原則となります。</p> <p>通学途上における交通トラブルへの懸念につきましては、児童生徒の安全確保に十分配慮しなければならないと考えています。安全に登下校できる通学路の設定に向けて、小中学校教職員をはじめ、保護者や地域の方、関係機関等と連携しながら進めてまいります。</p> <p>また、学校施設の工事期間中は、児童生徒はもとより周辺住民の皆様に対しても、安全確保を十分に図ってまいります。</p>	B：整備段階の参考とします

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
5	(10) 施設整備に関する事	<p>受注者には安全対策を十分に行わせ、市の方でも適宜監視していただきたい。</p> <p>3 学校施設について</p> <p>(1) 今後のIT発展を考慮したうえで、PC室・準備室は小中学校共有で1室で十分という判断か。必要に応じてPC室以外でも十分なICT教育が可能な設備を設置するよう検討いただきたい。</p> <p>(2) 1階部分の屋内プールは2階までの吹き抜けの予定となっているが、天井高は十分確保できるのか。低天井では音の反響や不快な水滴落下があると思われる。また換気についても十分検討いただきたい。</p> <p>(3) 配膳室は動線を十分に検討した内容となっているか。EVの位置や安全対策についても十分検討すること。</p>	<p>現在、市内小中学校においては、GIGAスクール構想により配備された一人一台のタブレット端末の整備に伴って、教室のみならず、様々な場所や場面で活用しております。PC室・準備室については、中学校における授業のうち、タブレット端末では実施できない教育内容を指導するために整備を予定しているため、1室としております。</p> <p>屋内プールの換気対策、配膳室の動線確保など、学校施設・諸室等の配置に関しては、いただきましたご意見を参考とさせていただき、要求水準書(案)にも反映させていただきます。</p> <p>本事業における施設整備についてはPFI事業として実施しますので、今後、要求水準書(案)に基づいて事業者の提案により示されてまいります。児童生徒の教育活動の充実及び教職員の働きやすさにも配慮しながら整備に努めてまいります。</p>	C：要求水準書（案）に反映します
	(11) 学園構想・計画全般に関する事	<p>4 事業について</p> <p>(1) アスベスト含有の有無で工期や金額は大幅に変わると思うが、PFI事業内で調査・対策を行うということは、蒲生二小のアスベスト含有の有無で事業費は変わらない（増減なし）という認識でよいか。変わらないのであれば、多少含有範囲が少なくなるように採取するなど、本来行われるべき対応がとられなくなる可能性はないか。サンプリング箇所や結果の精査については、市の職員でも十分に行い、アスベスト飛散のないよう十分対策を行っていただきたい。</p> <p>(2) 蒲生小の解体は市側の発注で行う予定のようであるが、上記同様、図面による判断だけではなく、実際にサンプリング調査を行うなどにより確実にアスベスト等の含有の有無を確認し、十分な対策を取ったうえで施工していただきたい。</p> <p>(3) PFI事業として行う場合は、事業者任せにするのではなく、市側でも十分な確認を行い、事故が発生しないよう努めていただきたい。</p> <p>(4) 工事等による児童や周辺住民への影響が最小限となるよう努めていただきたい。解体や掘削など、無音無振動で行うことは不可能であるが、可能な限り少なくできる工法を検討し、金額だけで選ぶことのないようにしていただきたい。（周辺には保育所もあるため睡眠時間帯の振動騒音には特に注意すべきと思われる）</p>	<p>建設時期が古い建築物を解体・撤去し新たな建物を設置していくためには、アスベスト含有量調査は欠かせないものです。新たに小中一貫校を整備していくためには、蒲生小及び蒲生第二小を解体・撤去することから、両校のアスベスト含有調査を実施します。計画上、両校の解体・撤去事業は、越谷市とPFI事業者となりますが、アスベスト含有調査（サンプリング）については、調査箇所等の精査・調整を図りながら進めてまいります。蒲生小の調査は令和3年度に実施し、アスベスト除去も含めた解体設計を行っております。また、蒲生第二小についても簡易検査を実施しましたので、解体前にあらためてアスベスト調査を実施してまいります。その際、本市のアスベスト対策の考え方として、周辺状況・環境等を考慮し、十分なアスベスト飛散防止対策を講じてまいります。</p> <p>本計画は民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づき、施設設計・建設及び維持管理業務を長期、かつ一体的に実施していく予定となっておりますが、当該事業を本市と事業者がともに協力しながら取り組めるよう、要求水準書(案)を作成しております。また、建設工事においても事故防止について十分配慮してまいります。</p> <p>事業者の選定にあたっては、総合評価型一般競争入札で実施してまいりますので、費用だけでなく施設・設備の整備全般について評価対象となります。また、工事等による事業地周辺のお住いの皆様や児童に与え</p>	B：整備段階の参考とします

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
6	(12) 学園構想・計画全般に関する事	<p>市内在住ではありませんが、市内の小学校で長く勤めてきた立場から意見を述べます。小中一貫校である3学園構想の見直しをすすめ、レイクタウンに対応した学校新設を今後とも粘り強くすすめることを強く要望します。</p> <p>（理由）</p> <p>◇いずれの学園も1000人以上の過大規模校となり、大きな課題を生じる可能性があり、困難克服の見通しがもてないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲生学園→一つの敷地に1600人を超える児童生徒が通学 ・川柳学園→1～4年生だけで1000人を超える。小5・6・中を入れると1800人超え。 ・明正学園→小学生だけで1000人超え。中学生も入れると1400人超え。 <p>※これらの過大規模校について、文部科学省も7つの課題を指摘し、速やかにその解消を図るよう設置者に対して促してきている。</p> <p>（例）・児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細かな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい。・授業の割当てや調整が難しくなる。・教職員が十分な共通理解を図ったりする上で支障が生じる場合がある。等</p>	<p>る影響については、可能な限り振動等を抑制するなど十分な対策を検討し、施工するよう調整してまいります。</p> <p>ご意見にもございますように、文部科学省は大規模校に関し7点の課題を提示しております。市教育委員会といたしましては、一つ一つの課題について吟味し、児童生徒の学習環境を整えるとともに、教職員の負担とならぬよう努めてまいります。</p> <p>例えば、学校行事における役割分担・活躍の機会の減少については、行事の実施方法を検討し、一人一人の児童生徒の活躍の機会を確保してまいりたいと考えております。また、児童生徒の個性や行動を把握しづらいという課題に関しましては、児童生徒数の増加に伴い、教職員も増員されることから、複数の教職員で対応が可能となるよう校内組織を工夫し、話の聞き取りについても複数で対応するなどの対応も可能であると考えております。さらに、小中一貫校の利点を生かして、小中学校でそろった生徒指導等の推進を図ることが期待できます。</p> <p>示されている課題点について、解決策を見出しながら、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
7	(13) 小中一貫教育に関する事	<p>今計画については、蒲生・川柳地区ですが、大相模地区の児童増加についての検討はなされているのでしょうか。越谷市内でも地区により人口増減があるとは思いますが、今計画の前提はレイクタウンの児童（人口）増が発端であると認識しております。そのため、レイクタウン周辺の児童増加について、大局的にご検討いただければと思います。冷静に自分に置き換え考えてみると、小学校5年生で中学校と同じエリアに（環境に）置かれることは、様々な観点から不安です。また、小中一貫でのカリキュラムなどの工夫はあるのかもしれませんが、日本全国どこを探しても小学校6年間を同じ敷地内で過ごすことができない学校は自分たちだけであることに違和感を感じ、一生漠然としたわだかまりを市に持つことになるのではないのでしょうか？</p> <p>学校を新しく設立する、これが叶えばすべての課題が解決するのではないのでしょうか。用地についてはリストアップしたものの、地権者に対してアプローチはしていないと伺っております。大変だとは思いますが、何卒ご対応お願いいたします。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>川柳小学校の高学年校舎については、先進的な取組について調査・研究し、小中一貫校として9年間を通した教育カリキュラムを柔軟に編成できるよう、学校とも連携しながら検討を進めてまいります。また、すでに開催した地域説明会や保護者説明会でいただいたご意見も参考として、保護者や地域の方、学校の管理職が参加する地域準備会でも検討し</p>	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
			てまいります。 なお、大相模地区児童数の増加に関する対応でございますが、仮設校舎の整備などを含めて取り組んでいます。今後も、児童生徒数の推計を注視しながら、対応を進めてまいります。	
8	(14) 学園構想・計画全般に関すること	<p>本「整備基本計画」に載っていない部分に問題点が多い。</p> <p>①レイクタウン地区の児童生徒数の急増に慌てて立てた計画であり、そのため地域住民の意見を尊重するより教育委員会主導で計画を作らなければならなかったこと。そもそもレイクタウン地区の児童生徒数の見込みは、いつどのように立て、どのようなサイクルでどのように見直されてきたのか。そこがうまくいっていなかったことが、今回の慌てた対応につながったものだ。この点での、反省なり責任なりをはっきりさせることが今後につながると思う。</p> <p>②3学園とも過大規模であり、適正規模の学校にすべき。この点での懸念に対し、設立後に学校長を中心に対応を工夫する旨の回答が多かったが、そもそも設立後では対応できない問題が多い。ハード面での問題をソフト面で乗り切ろうというに等しい。問題に対する回答になっていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば 蒲生学園のプール問題 1600名が一つのプールで学べるのか。深さの問題もあるし、授業のコマ組の問題もある。 ・川柳小の分離問題 高学年の学校のリーダーとしての自覚など大事な教育的価値が、中学生との触れ合いによりどう学べるのか。 <p>③3学園ならではの魅力的カリキュラムは、そもそも学校で編成すべき内容ではないのか。そこに市教委が入り込んでくるのは越権ではないのか。9年間同じテーマを追求するのも、どうかと思う。</p> <p>④「整備基本計画」の細かい点で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒲生学園 これだけ大規模学校なのに図書室が一つとはいかがなものか。プールは室内に一つのようなのだが、上記の問題あり。昇降口が狭く、少ないのではないか。同じ時間帯で出入りすることもあり、危険。特に避難時などは、時間がかかるのではないか。 ・川柳学園 図書室・特別支援学級と柔剣道場が近く、音や声が響いて落ち着かないのでは。 <p>⑤このまま3学園構想を推進したとしても、レイクタウン地区に学校がないのはおかしい。時間がかかっても用地を取得し、新設校を建て、学区の再編をし、大相模小を含め各学校を適正規模にするようにしてほしい。</p>	<p>児童生徒数の推計については、市内全校において例年5月1日の学校基本調査基準日に応じて、住民基本台帳に基づき推計を行っております。特にレイクタウン地区の児童生徒数につきましては、大規模マンションや共同住宅の建設など土地活用が積極的に行われている地域でもありますことから、注視しながら推計値の算出を行ってきたところです。様々な諸条件を加味しながら算出を行っておりますが、推計値の算出は非常に難しく場合によっては、乖離が生ずる場合もあるため、適切な時点を捉えながら児童生徒数の推計に努めてまいります。</p> <p>また、過大規模校へのご指摘でございますが、本市ではこれまでも多くの児童生徒数を有した学校があり、学習時間等を工夫しながら子どもたちの教育環境の確保、授業時間の確保を図ってまいりました。ご意見にありますプールの授業時間の確保につきましても、使用可能期間の延長による対応が可能であると考えております。また、深さの問題につきましても、可動式床の導入により対応してまいります。</p> <p>川柳小における高学年のリーダーシップに関しましては、5・6年生が高学年棟において学び、さらに中学生とも交流を図ることとなります。これまでリーダーシップを発揮する機会が、小学6年、中学3年の2回であったものが、小学4年、中学1年、中学3年と3回に拡大されると捉え、発達段階に応じて指導の充実が図れるようにしてまいります。</p> <p>カリキュラムに関しては、学校の負担を増やすことの無いよう、学校や地域の特徴等も踏まえながら示した原案です。今後、対象校の教員と一緒に検討を進め、よりよい教育課程を編成していく予定であります。今後におきましても、市教育委員会で決めていくことはないよう取り組んでまいります。</p> <p>本計画における施設・整備については、児童生徒が安心して、楽しく学べるよう諸室配置等を検討してまいります。図書室については、小中学生の共有スペースとして学習面での交流による効果を期待し、十分な面積を確保してまいります。昇降口については、いただいたご意見も参考とさせていただき、児童生徒の混雑緩和のため分散配置とすることを要求水準書(案)に反映させていただきました。川柳学園の諸室の配置に</p>	C：要求水準書（案）に反映します

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
			<p>については、教育活動に支障の無いよう十分に配慮してまいります。</p> <p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>ご懸念いただいている諸課題につきましては、様々な事項について学校関係者とも検討を進め、児童生徒の教育環境の確保と教育内容の充実に努めてまいりたいと考えております。</p>	
9	(15) 学園構想・計画全般に関すること	<p>学校や保育園、幼稚園の大規模化は絶対反対です。レイクタウン周辺で用地を確保し新設校を作ってください。</p> <p>反対理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高層化、大規模化は安全面、特に避難面で危険です。（経験上も逃げるのに時間がかかる） 2 大規模化は今回のコロナのような感染症や食中毒、伝染病も大規模化します。 3 子ども1人ひとりに寄り添って育ちを保障するためには、見守る大人のコミュニケーション、相互理解、共通理解が一番大切です。大きすぎる集団は百害あって一利なしです。 4 今後も学校は地域の避難所やコミュニティー作りの拠点として大切な空間になります。一極化では、機能を十分果たせない。（その辺りをどう考えているのでしょうか。教育は国家百年の計です。将来を見あやまらないで!!） 	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>災害等への対応については、児童生徒の動線も含めて安全に十分に配慮してまいります。避難所としての機能についても、関係機関との連携を図りながら整備してまいります。</p> <p>ご意見としていただいた大規模化に関する諸課題につきましては、文部科学省の示した一つ一つの課題について吟味し、児童生徒の学習環境や教職員の負担とならぬよう努めてまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
		<p>大規模校の建設に反対します!レイクタウンに新しい学校を建設して下さい。 ・子ども1人1人を把握出来るクラス編成を。1学年4クラスに。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設</p>	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
10	(16) 学園構想・計画全般に関する事	<ul style="list-style-type: none"> ・5階建ては小学校では反対です。非常時に避難するのに困難です。 ・教師が多いとお互いの意思疎通が困難です。 ・1人1人の子の成長過程が見られません。 ・4クラスがせいぜい子ども達の交流が可能です。 ・校庭がせまい。子ども達の遊び場、中学生と一緒にはいじめ等の発生が心配です。 ・住民、生徒、先生方との話し合いを充分行って下さい。 ・川柳学園構想で4・5年生を別施設に移行するのに反対です。6・3制を崩さないで下さい。 ・大体どこの小中一貫校は失敗しています。子どもたちに負の遺産を残さないで下さい。 	<p>設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>ご懸念いただいている諸課題につきましては、様々な事項について学校関係者とも検討を進め、児童生徒の教育環境の確保と教育内容の充実に努めてまいりたいと考えております。</p>	
11	(17) 学園構想・計画全般に関する事	<p>レイクタウンの児童が増えたのであれば、レイクタウンに学校を新設すれば済む問題だと思います。あの辺りは用地が沢山あるのに何故、出来ないのですか？多額の税金を使って、子供達に不便を強いるのは間違っています。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
12	(18) 学園構想・計画全般に関する事	<p>レイクタウン地区に小学校を建設すべきです。登下校時の児童の安全確保がなにより大切です。また川柳小の5、6年生が行政の失策で別敷地になることも理解できません。6年間の小学校生活を安全に豊かに守るのは行政であり大人の責任です。市民から疑問が沢山寄せられていると聞いています。越谷市は越谷市自治基本条例を持ち、発展させてきた自治体です。市民の声に答える場を作るべきです。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>昨年9月に、小中一貫校・3学園構想に係る小中学校の保護者の</p>	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
12	(10) 全般に関すること		皆様、学区地域住民の皆様には資料を提供するとともに越谷市ホームページに掲載いたしました。その後、電子申請システム等により寄せられたご意見やご質問をまとめ、昨年11月にホームページに公開いたしました。また、令和3年3月下旬に該当学区にお住まいの方々を対象とした地域説明会、さらに5月から7月中旬にかけて、3学園に関係する小学校の保護者の方々を対象とした説明会を開催するなど、これまでに24回の説明会を実施してまいりました。引き続き、関係小学校等に配付する「小中一貫校だより」などを通じて、建設工事や学園開校に向けての取組の進捗状況等について、保護者や地域の皆様に情報提供を行うとともに、新入学児童の保護者への説明会の実施や地域準備会の運営等を通して、保護者や住民の意見を反映した整備を心掛けてまいります。	
13	(19) 学園構想・計画全般に関すること	この話を聞き、ただただ驚きと不安でいっぱいでした。今、コロナ感染もひどい中で大規模校考えられません。一番の解決策は、2万人も住んでいる地域に学校がない事態がそもそもおかしいです。問題が目に見えて分かります。是非、レイクタウンに新設校を設置し、安心安全な学校づくりを目指して下さい。是非、先生方、教育委員会の皆様が教師という職業を選んだ時の初心に戻って見て下さい。子どもは未来に育つ宝です。を忘れないでいただきたいです。	レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新設校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。 今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。	D：その他（ご意見として承ります）
14	(20) 学園構想・計画全般に関すること	本来レイクタウン開発計画時点で、小中学校、保育園等の必要性はわかっていたのに、その不始末を子供たちに押しつけるのは本末転倒です。ベビーブーム時代に育った私としては、プレハブ教室に詰め込まれた大規模学校で育った私は、同様の教育環境では到底今のような多様な教育はできません。今からでも遅くない、調節池の上にピロテ方式で校舎を建て、レイクタウンの駐車場の一部を運動場として借り上げる方法等で新しい学校を設置すべきだと思います。早期に計画変更することを願います。	レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新設校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
			今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。	
15	(21) 学園構想・計画全般に関する事	越谷市の小中一貫校・3学園構想の特徴は、すでにある学校用地だけを使ってレイクタウンを中心とした児童急増に対応しようとしていることです。新しい学校用地取得の困難と出費を避けて、児童と保護者に劣悪な教育環境による負担と損害を強いるもので、最悪の施策です。「蒲生学園」では狭小すぎる校庭をはじめ、様々な問題が想定されます。加えて、独立して機能してきた蒲生南小を無理やり併合する利点がどこにあるのかわかりません。「川柳学園」の5・6年生分離のデメリットをどう解消するのか。原点に戻って労と費用をいとわず、急増児童が通学可能な地域に学校用地を取得し、新しい学校を立ち上げてください。	レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。 ご懸念いただいている諸課題につきましては、様々な事項について学校関係者とも検討を進め、児童生徒の教育環境の確保と教育内容の充実に努めてまいりたいと考えております。	D：その他（ご意見として承ります）
16	(22) 学園構想・計画全般に関する事	・建設の前提がうそです。研修の深化のためではなく、川柳小の児童急増のためでしょう。一言もふれていないのがおかしい。 ・蒲生学園が大規模で小中が一緒になること、川柳小の5、6年生が別敷地になることの問題に一言もふれていないのはおかしい。 ・そのくせ2つの学園のカリキュラムには市教委が案を出している。これは学校の当事者たちが決めることではないか。 ・蒲生学園は4階建てと書かれているが、小学校校舎は5階と発表していたはず。いつ変えたのか。5階は安全上問題だと認めて訂正したのか。 ・間取り案まで出してくれないと、具体的な意見を言いにくい。蒲生学園は入口を別にするような回答をいただいているが、計画案では昇降口が一緒だ。 ・今まで様々な意見を言ってきたのに、どのように計画案に反映されているのかさっぱりわからない。市民の意見を公表し、それに対しどのように解決したのか、未解決は何かを明らかにしてほしい。（うそやもみ消し、ねじ曲げるのは止めて）	レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、平成30年5月の児童数推計において、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。 カリキュラムに関しては、学校の負担を増やすことの無いよう、学校や地域の特徴等も踏まえながら示した原案です。今後、対象校の教員と一緒に進めて検討を進め、よりよい教育課程を編成していく予定であります。 小中一貫校の設備に関してですが、昇降口については、いただいたご意見も参考とさせていただき、児童生徒の混雑緩和のため分散配置とすることを要求水準書(案)に反映させていただきました。その他、本基本計画に示した施設・諸室規模については、事業費を積算する上で動線などを検討するためにイメージ図として作成したもので、今後、要求水準	C：要求水準書（案）に反映します

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
			書(案)に基づいて事業者の提案により示されてまいります。 ご懸念いただいている諸課題につきましては、様々な事項について学校関係者とも検討を進め、児童生徒の教育環境の確保と教育内容の充実に努めてまいりたいと考えております。	
17	(23) 学園構想・計画全般に関すること	<p>1 越谷市小中一貫校の構想でもっとも危惧されるのは、その学校規模です。対象校に現在在籍している児童・生徒は約3600人です。単純に2つにしても1校当たり1800人。9学年ですから1学年あたり200人、30人学級だと6～7クラスになります。全校で54～63学級と言ったところでしょうか。小中一貫校創設の意義を云々する前に、このレベルの規模の学校をどう運営していくつもりなのか。かつて3000人規模（72クラス）の総合選択制高等学校で教職にあったものとして、その経験からはなほ疑問に思っています。</p> <p>1) 子どもたちは発達途上にあり、多様な課題をそれぞれの子どもが抱えています。個々の生徒の特性に応じてどう指導していけるのか。1800人のそれぞれがかかえる問題をどうやって教職員の共通認識にするのか、とても見通しが立つと思えません。しかも、小学1年生と中学1年生ではまったく発達段階が違います。小中一貫校にすることでかえって、個々の児童・生徒の課題が共通のものとしてとらえられなくなり、教職員間の分断を招くのではないかと危惧します。</p> <p>2) 在籍生徒1800人だと、教職員の数も膨大となります。3000人の高等学校は200人の教職員でした。お互いに名前も分からず、1年間まったく話もしない教職員がたくさんおりました。学校をいきいきと運営するには、教職員どうしのコミュニケーションが欠かせませんが、200人の名前も分からないものどうしですので、どうにもなりません。150名を超える職員会議はマイクを使用していました。そのほとんどは、管理職や分掌からの伝達・報告・連絡事項でした。じっくり話し合うなどできません。校長が命令し、教職員が兵隊のように従うという上位下達の学校経営を考えているのでしょうか。主体的に考え、創意工夫して実践を積み重ねる教職員集団でないと豊かな教育はできません。大規模校の教職員の大集団は、よほどの努力をしない限り多忙化のなかで無気力に校長の言い分を唯々諾々と聞くだけの集団になっていくと思います。その方が管理職にとっては楽なのかもしれませんが、それは教職員の活力をそぎ落とします。それは、子どもたちにとっても良いことではありません。</p> <p>3) 私の分掌は防災係でした。3・11のあと綿密な避難計画や避難訓練な</p>	<p>大規模校に関するご意見でございますが、文部科学省は大規模校に関し7点の課題を提示しております。市教育委員会といたしましては、一つ一つの課題について吟味し、児童生徒の学習環境を整えるとともに、教職員の負担とならぬよう努めてまいります。</p> <p>例えば、児童生徒の個性や行動を把握しづらいという課題に関しましては、児童生徒数の増加に伴い、教職員も増員されることから、複数の教職員で対応が可能となるよう校内組織を工夫し、話の聞き取りについても複数で対応するなどの対応も可能であると考えております。さらに、小中一貫校の利点を生かして、小中学校でそろった生徒指導等の推進を図ることが期待できます。</p> <p>3学園構想では、小中学校の枠組みを残したまま小中一貫校とすることから、各小中学校に管理職があり、教職員組織に大きな変更はありません。小中一貫教育を推進する上で必要な合同会議や研修会については計画的に実施してまいります。</p> <p>（仮称）蒲生学園は、ご指摘いただきましたように児童生徒数が1600人を超えることが予想されますが、災害時の安全対策等については、校舎の耐震性等法令を遵守するとともに、災害時に必要な避難経路を十分確保することや、児童生徒に対し防災教育、避難訓練等を計画的に実施してまいります。これらの取り組みを行っていくことで、児童生徒が自分自身で身を守る意識を高めていく取り組みを進めてまいります。</p> <p>レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>小学生の通学時間についてですが、川柳小学校の高学年については、</p>	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
		<p>どに努力しましたが、3000人規模の生徒と教職員をどう避難させるか、とても苦労しました。いまでも、あの規模の学校で、3・11並みの地震が直下型で来たら、ひとりも犠牲者を出さずに避難させることはできないだろうと思っています。大規模校のアキレス腱です。</p> <p>4）計画にはさまざまな希望に満ちた意義付けがされていますが、この計画はどうみても、古くなった校舎の改築はしなければならないが、それをできるだけ節約したいという財政的な意図から作られているとしか思えません。新校舎の建築費だけの問題ではなく、小さな学校に分散するよりも、大きな学校にまとめたほうが経済効率がよいという発想ではないでしょうか。全国の間部や孤島では、小学校の分校がいまだに残っており、数人の教職員が数人の子どもたちの指導に当たり、生き生きとした教育活動が行われています。当然、財政の持ち出しは多くなりますが、教育の機会均等との理念からは当然のことだと思います。</p> <p>5）児童・生徒がたくさんいる大規模校がいいとどうして言えるのか。ディパシティの時代であるからこそ、小さな学校の小さな教室で、少ない人数の教職員が管理職も含めて十分なコミュニケーションをとって、子どもたち一人ひとりの発達段階にあわせて生き生きと教育活動に専念する。それが理想であると思います。</p> <p>2 その他</p> <p>1）とりわけ小学生の通学時間はどうなるのでしょうか。越谷の地理には詳しくないのでわかりませんが、わたしの居住する地域には中学校が1校しかなく、毎朝毎晩、交通量の多い通りを、ヘルメットをつけた生徒が自転車で登校しています。危険ですし、学校は住所の近くにあるのが義務教育の基本だと思います。歩いていける距離であることが必須です。</p> <p>2）教職員、父母、地域住民、そして子どもたちの意見を十分に「聴き取って」（パブリックコメントで聞いたという事実でよしとしないで）計画を見直して頂きたいと思います。</p>	<p>通学距離が若干長くなりますが、その他の小学校についての変更はありません。</p> <p>昨年9月に、小中一貫校・3学園構想に関する小中学校の保護者の皆様、学区地域住民の皆様にご意見を提供するとともに越谷市ホームページに掲載いたしました。その後、電子申請システム等により寄せられたご意見やご質問をまとめ、昨年11月にホームページに公開いたしました。また、令和3年3月下旬に該当学区にお住いの方を対象とした地域説明会、さらに5月から7月中旬にかけて、3学園に関する小学校の保護者の方を対象とした説明会を開催するなど、これまでに24回の説明会を実施してまいりました。引き続き、関係小学校等に配付する「小中一貫校だより」などを通じて、建設工事や学園開校に向けての取組の進捗状況等について、保護者や地域の皆様に情報提供を行うとともに、新入学児童の保護者への説明会の実施や地域準備会の運営等を通して、保護者や住民の意見を反映した整備を心掛けてまいります。</p> <p>ご懸念いただいている諸課題につきましては、様々な事項について学校関係者とも検討を進め、児童生徒の教育環境の確保と教育内容の充実に努めてまいりたいと考えております。</p>	
18	(24) 学園構想・計画全般に関すること	<p>今までに何度も意見を提出していますが、計画案に反映されているように思えません。「越谷市自治基本条例」を遵守して市民の意見を取り入れてください。大規模な学校には問題点が多すぎます。教育委員会の職員は、学校勤務経験者が多いので、問題点が多いのは、おわかりのはずです。子どもの立場に立った、計画を進めてください。レイクタウンに学校を建ててくださ</p>	<p>小中一貫校整備のご意見を伺うため、対象地域の皆様や保護者、学校PTAの皆様に対しまして説明会を実施してまいりました。本計画を推進するにあたって、様々なご意見・ご要望をお伺いしております。市教育委員会といたしましても、未来ある児童生徒の教育環境の確保を最優先に考えて取り組んでまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
		い。子どもたちが安心して教育を受けられる環境を作るのは、大人の義務です。		
20	(25) 学園構想・計画全般に関する事	<p>全国に小中一貫校は数々あるけれど、人口2万人の新しい町を作ったのに、その中に小中学校がないところは越谷だけではないでしょうか。越谷市の教育行政に対して疑問に思います。周囲に児童数が少ない学校があったにせよ、レイクタウンという新興住宅地にまず学校・保育園は作るべきではないでしょうか。蒲生学園では、児童生徒一人当たりの校庭面積が10㎡で小学生は2/3に、中学生は1/2になってしまい、運動の保証はどうするのですか。4・3・2制の小中一貫と言いながら、南小は全くあてはまりません。具体的にどうするのかわかりません。具体的に提示してください。川柳学園は、1～4年生と5・6年生が別々の敷地で教育を受けることの計画はやめてほしいです。同じ敷地内で教育を受けられるよう見直してほしいと思います。3学園構想と言いながら3学園それぞれの構想がバラバラで一貫性がなく名ばかりの小中一貫校はやめてほしいです。レイクタウンに学校をと願います。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>文部科学省の小学校設置基準、中学校設置基準に準じて児童生徒数に応じた運動場（校庭）の必要面積を試算しますと、蒲生学園の開校にあたり必要な運動場面積（校庭面積）は、15,600㎡となります。蒲生学園の運動場は、現在の蒲生第二小の敷地全体を校庭とする計画にしており、必要面積と同程度の面積が確保できる想定です。利用にあたっては、体格等の異なる小中学生が一緒に利用する際に支障がないよう、使用の際のルールづくりや見守りの体制等に配慮してまいります。</p> <p>蒲生南小におきましても、新校と同じ4・3・2制を取り入れた教育を行い、蒲生学園として一体感を高め、新校と蒲生南小の卒業生が中学校生活をスタートできるよう、小学校間、小中学校間での連携を深める取り組みを進めてまいります。具体的には、中学校の教員が小学生に対して授業を行う出前授業の実施や小学5・6年生と中学1年生との交流学习、総合的な学習時間のテーマ統一、学校行事での積極的な交流などをカリキュラムに取り入れてまいります。</p> <p>川柳小学校の高学年校舎については、先進的な取組について調査・研究し、小中一貫校として9年間を通した教育カリキュラムを柔軟に編成できるよう、学校とも連携しながら検討を進めてまいります。また、すでに開催した地域説明会や保護者説明会でいただいたご意見も参考として、保護者や地域の方、学校の管理職が参加する地域準備会でも検討してまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
		レイクタウンが建設された時に行政は当然人が生んで生きていくための必	レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウ	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
21	(26) 学園構想・計画全般に関する事	<p>要な整備をすべきでした。行政はまずこのことを市民に謝罪すべきです。そこを出発点に市民の要望を土台に計画案を立案すべきではありませんか。今回のように市民の声をきくこともなく、とんでもない計画をおしつけてくるのは許せません。自分達の落度をかくして進めようとしています、6年間の教育の場が豊かに保障されない児童生徒が最大の被害者です。市長、教育長は辞職すべきではありませんか。責任者の見解を示す場を作るべきではありませんか。知らぬ存ぜぬは許しません。</p>	<p>ン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。</p>	<p>元として承ります)</p>
22	(27) 学園構想・計画全般に関する事	<p>越谷で教職についていた者として、ご意見を述べたいと思います。川柳小などの児童増のため、急ぎ工事に入りたい気持ちは分かりますが、大規模校がどんなに大変か、教員をやっていた者ならだれでも身に染みていることです。しかも、小学生と中学生が一緒というのですから、尚更のことです。「小中一貫校」の美名で問題を覆い隠してしまわないで、一つ一つ解決していく姿勢こそ、教育行政に求められるのではないのでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。大規模校に関するご心配、ご意見であると思われます。新たな取り組みを進めて行く際には、様々な課題等が生じてまいります。これらの課題を一つ一つ解決していくことが重要であると思っております。レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。いただきましたご意見も参考として、未来ある児童生徒の教育環境の確保を最優先に考え、取り組んでまいります。</p>	<p>D：その他（ご意見として承ります)</p>
23	(28) 学園構想・計画全般に関する事	<p>小中一貫校計画は中止し、レイクタウン地域に学校を新設して下さい。学校が必要な地域にあたりまえに学校を新設し、適正な規模であることが大切です。子どもたちの成長にとって大事となる学習環境を守って進めていただきたいです。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化さ</p>	<p>D：その他（ご意見として承ります)</p>

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
			<p>せる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。</p>	
24	(29) 学園構想・計画全般に関すること	<p>「小中一貫3学園構想」に「反対です。</p> <p>1 「蒲生学園」は、小中1600名以上の児童生徒が通学すると聞いていますが、今、子供達一人一人の個性を大切にしたい学びが大事だと言われる中で、これは逆行するものではないでしょうか。また、災害やコロナウイルスのような感染症大流行のとき、子供の安全を考えれば大規模校のデメリットはあまりにも多いと思います。</p> <p>2 「川柳学園」の小学校1～4年と5～6年生を分断するとの計画は、どう考えても異常としか思えません。教育委員会の目線ではなく、子供達目線で考える思いやりが欲しい。</p> <p>3 そもそもレイクタウンの子供達が増えたがため、つじつま合わせの方法ではないか。越谷市と教育委員会は、レイク地区にこそ小中学校を建設し、レイクを故郷と言えるように、子供達にプレゼントすべきで、そのための最善の努力を望みます。</p>	<p>蒲生学園の大規模校化に対する懸念につきましては、デメリットを解消するような取り組みを図ってまいります。災害時の安全対策等については、校舎の耐震性等法令を遵守するとともに、災害時に必要な避難経路を十分確保することや、児童生徒に対し防災教育、避難訓練等を計画的に実施してまいります。これらの取り組みを行っていくことで、児童生徒が自分自身で身を守る意識を高めていく取り組みを進めてまいります。</p> <p>川柳小学校の高学年校舎については、先進的な取組について調査・研究し、小中一貫校として9年間を通した教育カリキュラムを柔軟に編成できるよう、学校とも連携しながら検討を進めてまいります。また、すでに開催した地域説明会や保護者説明会でいただいたご意見も参考として、保護者や地域の方、学校の管理職が参加する地域準備会でも検討してまいります。</p> <p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
		<p>レイクタウンには2万人以上の方が生活しています。そのレイクタウンに学校がないのは、おかしいです。今からでもレイクタウンに用地を確保し学校を建設して下さい。それが一番の解決策だと思います。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、</p>	D：その他（ご意見として承ります）

越谷市小中一貫校整備基本計画（案）に対する意見全文と市の考え方一覧

【市の考え方の区分】

- A：基本計画（案）に反映します B：整備段階の参考とします
 C：要求水準書（案）に反映します D：その他（ご意見として承ります）

No	該当項目	意見（全文）	市の考え方	区分
25	(30) 学園構想・計画全般に関すること		<p>地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>今後も、いただいたご意見を参考に、児童生徒の教育環境の確保や教育内容の充実に努めてまいります。</p>	
26	(31) 学園構想・計画全般に関すること	<p>コロナ禍のもとで学校教育環境の激変、そしてGIGA構想の取り組みもあり、毎日大変な状況をカバーしてくださっていたこと、お疲れ様でした。現場の先生方や子ども達は、更に大変だったと思います。さて、この小中一貫校について、どうしても考え直してもらえないでしょうか。パブリックの面積を有効に使うことを国が求め、そこに補助金の増額でもあるのかしりませんが、基本、子どもは未来の宝です。その子ども達が希望をもって生き生きとのびのびと学び、育てられる学校環境をつくるのが役所の仕事ではないでしょうか。限られた予算と期間でしようが、どこにポイントを定めて実施するかだと思います。休み時間も自由に外遊びできない学校、プールが楽しく余裕をもって計画できない学校、交通安全に常に注意を払わなきゃあ通学もままならない学校、5、6年生のすばらしい姿に接しにくい学校、通学班編成も1時間ではできない学校、中学生と小学生が一緒にいて時間帯が区別しにくい学校、そんな学校をつくらうとしています。レイクの地域に学校用地を確保してください。そのために労力をはらって下さい。そのために足や力を発揮して下さい。※現場への代替職員をだせない時は、指導主事さんが学校に行き、助けて下さいませんか。職種が違いますが、現場が酷い状態になります。</p>	<p>レイクタウン地区に新設校をとのご意見でございますが、レイクタウン地区における児童生徒数の増加に伴い、通学区域の改編や既存学校施設への仮設教室の設置等を図り、児童生徒の学習環境の確保に努めてきましたが、特に川柳小学校児童数の増加が著しいことから、学校用地の確保を含む新校設置の可能性について検討を進めました。しかしながら、地域内または隣接地において学校建設に適した用地が様々な要件により確保することが困難であることが分かりました。また、平成27年度より市内全小中学校において取り組んできた小中一貫教育をさらに深化させる取り組みを進めていくために、既存の学校敷地を活用した小中一貫校の設立を目指した3学園構想としたものです。</p> <p>ご懸念いただいている諸課題につきましては、様々な事項について学校関係者とも検討を進め、児童生徒の教育環境の確保と教育内容の充実に努めてまいりたいと考えております。</p>	D：その他（ご意見として承ります）
27	(32) 学園構想・計画全般に関すること	<p>計画は、既に決定しているのですか。8月15日（日）「NHKの子どものだ自慢」を観て驚きました。蒲生二小がなくなるからと3姉妹の好きな図書室、音楽室も放映したものですから、越谷市、教育委員会が許可したものでしょう。児童に話をしているのがわかり、愕然としました。あきれました。市民の声を無視しています。おかしな話です。</p>	<p>蒲生小、蒲生第二小については、5月に保護者説明会を開催するとともに、合併後の新校名についてのアンケートを実施するにあたり、児童にも合併の説明をしております。その後も、小中一貫校だよりを作成・配布し、児童・保護者はもとより地域の皆様への周知にも努めているところです。</p> <p>今般のテレビ番組への出演については、ご家族等で相談の上、ご応募いただいたものと拝察しております。なお、校内の撮影について、教育委員会に対して許可を求められた経緯はありません。</p>	D：その他（ご意見として承ります）